

# CTI グループ AI 倫理指針

CTIグループは、「世界に誇れる技術と英知で、安全で潤いのある豊かな社会づくりに挑戦する」という経営理念のもと、インフラ整備の多様な領域における幅広いコンサルタント業務を行っています。

AI(Artificial Intelligence, 人工知能)の活用により、インフラ整備事業の各プロセスにおける課題を解決に導くことが期待されており、社会に多大な便益をもたらす一方で、多くの倫理的課題が明らかになってきました。

当社グループは、AI について明文化した倫理指針を持つことにより、AI に内在するリスク評価や対策を実践しつつ、「AI システムの研究開発」、「AI システムの利活用」、「AI システムの社会実装」の三つのフェーズで AI に取り組むことにより、人間の尊厳が守られた安全かつ快適で持続可能な社会の実現と、人々の Well-being 向上に貢献していきます。

## 【本指針の適用範囲】

CTI グループ AI 倫理指針は、CTI グループのすべての役職員が AI の利活用や研究開発を行う際の基本原則と行動規範として定めたものであり、指針の対象となる企業活動として以下を想定しています。

1. CTI グループが AI システムを開発する。
2. CTI グループが開発した AI システムを自社の研究開発や業務生産に利活用する。
3. AI を利用した他社の商品やサービスを自社の研究開発や業務生産に利活用する。
4. CTI グループが開発または利活用した AI システムをサービスとして社会実装する。

## 【基本原則】

### (1) 人間の尊厳を重視し多様な幸せを追求する社会の実現

- ・ 人間と共生する AI を原則として、人間の能力、創造性が損なわれない人間の尊厳を重視する豊かな社会の実現を目指します。
- ・ 人間と共生する AI を原則として、多様な背景、価値観を持つ人々が多様な幸せを享受できる社会の実現を目指します。

### (2) 持続可能な社会の実現

- ・ AI の力を、地球規模の問題解決や平和で持続可能な社会の実現のために活用します。

## 【行動規範】

### (1) 人間により監督・判断し制御可能性を確保

- ・ AI を高度なツールとして活用し、人間が常に監督・判断できるような制御可能性を確保します。

### (2) 安全性の重視

- ・ データの質により予見できない結果をもたらすリスクをふまえた上で、利用者および第三者の生命・財産等に危害を及ぼさないよう安全性を重視します。
- ・ 社会の価値観の変化に伴う「正解」の定義の変化を常に確認し、随時アルゴリズムを改善します。

### (3) 透明性、説明責任の確保、責任の所在を明確化

- ・ AI の検討過程、判断根拠を検証し、適切な説明が可能となるように透明性を確保し、責任の所在を明確にするように努めます。

### (4) AI 活用の妥当性検証

- ・ AI システム導入時に、「そもそも AI が、対象案件の課題解決や目的達成に本当に有効か」といった概念

実証(PoC: Proof of Concept)を実施し、その実現性、具体性を十分に吟味します。

(5) プライバシー確保

- ・ パーソナルデータ利用による個人の自由、尊厳、平等などへのプライバシー侵害を防ぎます。

(6) セキュリティ確保

- ・ AI システムの信頼性、頑健性に留意し、セキュリティに関するリスクを評価抑制します。

(7) 公平性確保

- ・ 多様な背景、価値観を持つ人々の利益に資するとともに、人種、性別、国籍などにより不当な差別を受けないように公平性を確保します。

(8) 著作権の保護

- ・ AI を搭載するシステムの開発・運営に関わる学習データ、プログラム及びシステムによる創作物などの著作権を適正に保護します。

(9) 継続的改善と人材育成

- ・ 社会情勢の変化や技術革新に伴い、AI が社会全体に有益となるように継続的な改善を図っていくとともに、AI の開発、利活用、社会実装を適切に実現するために、人材育成に積極的に取り組みます。

当社グループは以上の取組を進めつつ、今後も新たに発生する諸課題を検討しながら、随時、本指針を見直し改善していきます。

2022 年 7 月 制定